

国語科学習指導略案

令和2年2月7日金曜日2校時
高等部Cグループ 男子4人 女子3人 計7人
指導者 佐藤 誠(CT) 長友 枝里子(ST)

1 題材 「いろいろな文章に親しもう（説明文）」

2 本時の学習(8/10)

(1) 全体目標

本文に合った動画やイラストを選び、選んだ理由や手掛かりのキーワードを伝える活動を通して、「おにごっこ」の説明文の内容を読み取ることができる。

(2) 授業で目指す姿

- ① 本文を読み、内容に合った動画やイラストを選んだり、本文を手掛かりに選んだ理由を説明したりする姿<思考・判断・表現, 人間関係>
- ② 自分の考えを友達に説明したり、友達の考えを聞いたりして、正しい答えを導きだそうとする姿<主体性, 人間関係>

(3) 個人目標

生徒	個人目標
U. K (1年, 男)	「おにごっこ」の説明文の一部を読み、教師とチェックリストを活用しながら本文に合った動画を選び、手掛かりになったキーワードを教師に伝えることができる。
S. H (1年, 男)	「おにごっこ」の説明文を読み、おにごっこの遊び方を友達に伝えたり、教師が提示する動画の中から同じルールのもを選び、選んだ理由を発表したりすることができる。
T. A (1年, 女)	「おにごっこ」の説明文を読み、内容に合った動画やイラストを選び、遊び方を整理した表を手掛かりに選んだ理由を友達に説明することができる。
N. A (2年, 女)	「おにごっこ」の説明文を読み、チェックリストを基に、本文に書かれているおにごっこの遊び方に合った動画を選び、選ぶ手掛かりとなったキーワードを教師に伝えたり、発表したりすることができる。
H. R (2年, 男)	「おにごっこ」の説明文を読み、遊び方を整理した表を手掛かりに、本文の内容に合った動画やイラストを選んで、選ぶ手掛かりになったキーワードを友達に伝えることができる。
K. N (3年, 男)	「おにごっこ」の一部を読み、教師や友達とイラストやチェックリストを確認しながら内容に合った動画を選び、答えを教師に伝えることができる。
S. M (3年, 女)	「おにごっこ」の説明文の内容に合った動画やイラストを選び、選んだ理由が本文のどこに書かれているのか友達に説明することができる。

(4) 実際【①, ②は授業で目指す姿（資質・能力）の評価場面】

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (10)	1 始めの挨拶 2 これまでの学習を確認する。 3 本時の学習を確認する。 説明文を読んで、3つのおにごっこ の「遊び方」と「理由」について振り 返ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「はじめ」の部分の問い掛けに沿って、「なか」に書かれている内容を3回に分けて整理したことを確認する。 ・ これまでの活動を振り返ることができるように、これまでに使った掲示物で確認できるようにする。 ・ 教師から本時の活動を聞くことで、自分たちで学習のめあてを立てることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までのワークシート ・ これまでに使用した掲示物
展開 (35)	4 本文を読み、書かれている内容に合った、イラストや動画を見付ける。 (1) みんなで交代しながら、一文ずつ音読する。 (2) 学習内容を確認する。 (3) 2, 3人グループに分かれて、役割を分担する。 (4) 教師が示す動画やイラストと本文の内容を照らし合わせて、ホワイトボードに、遊び方と理由を整理する。 (5) 全体で答えを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ U.K, K.N, H.R は朗読のとき、読んでいる部分を指さして追って内容を確認できるようにする。 ・ 教師が提示するイラストや動画に合った本文の内容を見付けることを確認する。 ・ ST は、N.A を中心に N.A, S.M のペアと K.N と H.R のペアの支援を行うようにする。 ・ CT は、U.K を中心に U.K, T.A, S.H の支援を行うようにする。 ①② 分担した役割を中心に、自分の考えをペア又はグループで確認する時間を設定する。 ② N.A, K.N, U.K については、チェックリストを活用することで、自分の考えを整理できるようにする。 ② T.A, S.M については、「なぜ」の問い掛けをすることで、考えを深めることができるようにする。 ・ 友達の発表を通して、答えを確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テキスト ・ ディスプレイ ・ パソコン ・ イラスト ・ ホワイトボード
終末 (10)	5 本時の振り返りをする。 6 次時の学習の確認をする。 7 終わりの挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・ U.K, N.A に学習のまとめをすることを伝えて、CT に注目してから振り返りをする。 ・ 本文の内容をイラストと動画を使って整理したことを確認する。 ・ 本時に引き続き、内容のまとめをすることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テキスト ・ ワークシート ・ イラスト

学習指導案について

生活単元学習指導略案

令和2年2月7日 金曜日 2校時

小学
指導

全体目標

各教科等の内容から設定

1 単元(題材) 「〇〇たんけんしよう」

2 本時の学習(16/23)

(1) 全体目標

校外学習時に調べたことをまとめる活動を通して、公共施設等の外観や施設内の写真や動画を手に持ち、それぞれに名称やおおよその役割を答えたり、それらを地図や表に表したりすることができる。

(2) 授業で目指す姿

- ① 調べたことを、写真やイラスト、文字を用いて表現する姿 <思考・判断・表現・主体性>
- ② まとめたことを言葉や動作で伝えようとする姿 <言語能力>

(3) 個人目標

児童	授業で目指す姿	資質・能力を発揮している具体的な姿
I. R i (4年, 男)	施設の外観や施設内を手持かりにすることができる。	
I. R u (4年, 女)	施設の外観の写真を手持かりに施設の役割(何をやる場所か)を主語、述語の2語文で説明することができる。	
T. H (4年, 男)	施設の外観の写真を見て名称を言葉で伝え、施設内の写真や施設を利用している動画で伝えることができる。	
O. M (3年, 男)	名称を聞いて施設の外観の写真を手持かりにして、役割を表すイラストと対応付けて、「泳ぐ。」などの言葉で伝えることができる。	
H. K (3年, 男)	施設の外観の写真を見て名称を言葉で伝え、施設内の写真や施設を利用している動画を手持かりにして、役割を表すイラストを選択したり、教師の簡単な質問に「泳ぐ。」、「運動。」などの言葉で答えたりすることができる。	

(4) 実際【①、②は授業で目指す姿(資質・能力)の評価場面】

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (5)	<p>※ ログ・役割クイズをする。</p> <p>1 始まりの挨拶をする。</p> <p>2 学習の流れを確認する。</p> <p>3 めあての確認をする。</p> <p>ハートピアは、どんなところ?</p>	<p>・商業施設や公共施設のロゴや役割を表したイラストをフラッシュカードで提示すること、これまでの学習を振り返りながら授業への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>・文字とイラストを併せて表示することで、示された内容が分かるようにし、学習の進め方を確認する。</p>	<p>・フラッシュカード</p> <p>・ホワイトボード</p>
展開 (30)	<p>4 ハートピアの役割について調べたことやおおよその位置関係を確かめることができるようにする。</p> <p>(1) 外観の写真や施設内の写真や動画を撮影した施設内の写真や動画を指差し、役割を表す言葉やイラストを選択したり、イラストを選び、役割を表す言葉やイラストを貼り付けること、ワークシートにまとめる。</p> <p>(2) 施設内の写真や動画を指差し、役割を表す言葉やイラストを選択したり、イラストを選び、役割を表す言葉やイラストを貼り付けること、ワークシートにまとめる。</p> <p>5 ワークシート【グループ1】CT T.H, O.M</p> <p>【グループ2】ST I.Ri, I.Ru, H.K</p>	<p>① 施設の名前、外観や施設内の写真、役割を表すイラスト、役割を表す言葉、それぞれの子どもの実態や目標に合わせてワークシートにまとめるようにする。</p> <p>I.Ri は施設の名前や役割を言葉で伝えた後に文字として表記する。I.Ru, H.K は言葉で伝えた後に教師の記した見本を手掛かりにして描写やざり書きで表記する。I.H は書くことよりも文字を用いて単語を構成することに重点を置き、文字カードを貼り付けることで表記する。O.M は、文字の表す内容と対応付けたイラストを用いて、教師の言葉の復読や動作で表現でき</p>	
終末 (10)	<p>6 まとめたことを発表する。</p> <p>7 終わりの挨拶をする。</p>	<p>② 各自で作成したワークシートを手掛かりに、教師の簡単な質問に答えること、まとめたことを友達や教師に伝えることができるようにする。</p>	

資質・能力の評価場面
授業で目指す姿の数字と対応
させて、留意点を記入